

令和 6 年 9 月 13 日

令和 6 年度第 1 回 SD 研修会の開催について

プラットフォーム形成推進委員会

委員長 田畑和彦

事務担当 吉添 克宏

下記のとおり、SD 研修会を開催します。

記

- 1 開催日時 令和 6 年 9 月 27 日（金） 15 時 00 分～16 時 30 分
- 2 開催方式 Zoom
- 3 対 象 静岡県内の大学等の職員（ただし、教員の参加も可とする）
- 4 テ ー マ 各大学の IR 活動の現状と課題について
- 5 講 師 静岡理工科大学 渡邊 慎也
静岡福祉大学 永島 大介
浜松学院大学 荻原 慎介
浜松学院大学短期大学部 名和 哲夫
静岡産業大学 吉添 克宏
- 6 申込方法 令和 6 年 9 月 25 日（水）17:00 までに下記宛に連絡ください。
静岡産業大学 吉添 メール：kikaku@ssu.ac.jp
※アーカイブからの後日視聴も可能です。

以上

令和 7 年 8 月 12 日

令和 7 年度第 1 回 SD 研修会の開催について

プラットフォーム形成推進委員会

委員長 田畑和彦

事務担当 吉添 克宏

下記のとおり、SD 研修会を開催します。

記

- 1 開催日時 令和 7 年 8 月 22 日（金） 15 時 40 分～16 時 30 分
- 2 開催方式 Zoom によるオンライン
- 3 対 象 静岡県内の大学等の職員（ただし、教員の参加も可とする）
- 4 テ ー マ 「各大学における組織的な外部資金獲得への取り組みについて」
～各大学の各種外部資金の獲得についての事例紹介など～
- 5 講 師 静岡理工科大学 池田 達哉
聖隷クリストファー大学 清水 聖亜
静岡福祉大学 高尾 直樹
浜松学院大学・同短期大学部 中村 友実子
静岡産業大学 吉添 克宏
- 6 申込方法 令和 7 年 8 月 21 日（木）17:00 までに下記宛に連絡ください。
静岡産業大学 吉添 メール：kikaku@ssu.ac.jp
※アーカイブからの後日視聴も可能です。

以上

「各大学における組織的な外部資金獲得への取り組みについて」

～各大学の各種外部資金の獲得についての事例紹介など～

1. 科研費獲得への取組について

- ①毎年度、社会連携課（URA）が科研費の公募開始に合わせ、申請に係る変更点等に関する説明会を開催している。また、採択率の向上を目指し、科研費審査員経験や多数の採択実績を有する講師を招き、「科研費獲得のためのテクニック」等の講演を行っている。
なお、説明会はオンラインで開催し、アーカイブを残すことで後日の視聴を可能としている。
- ②申請書のピアレビュー体制（査読者は非公開）を構築し、申請書の質向上に取り組んでいる。

2. 市町など地元地域や地元企業などからの補助金・助成金獲得への取組について

- ①県・市町が実施する委員会等へと参画し、助成金等に係る情報を積極的に収集し、学内教員へ展開している。また、財団系の公募情報は取りまとめ、定期のメール配信を行っている。
- ②獲得した外部研究費の受入状況は、教授会の定例報告事項としており、学内で情報共有を通じた意識付けに取り組んでいる。なお外部研究費の獲得状況は大学 HP（<https://www.sist.ac.jp/social/inds/inds-graph/>）に実績値を公開している。
また、令和4年には共同・受託研究に加え、新たな外部資金の獲得策として、「学術指導規程」を制定した。
- ③研究会（金型技術研究会・モータードライブ応用研究会）の運営による地域連携活動により産業界との連携強化を図っている。研究会では定期的な講演会を実施し、研究会の会員企業等との情報交換・交流の場を設けている。

私立大学改革総合支援事業

本学の状況

- タイプ1

難易度が高く申請するが選定されない。

- タイプ3プラットフォーム型

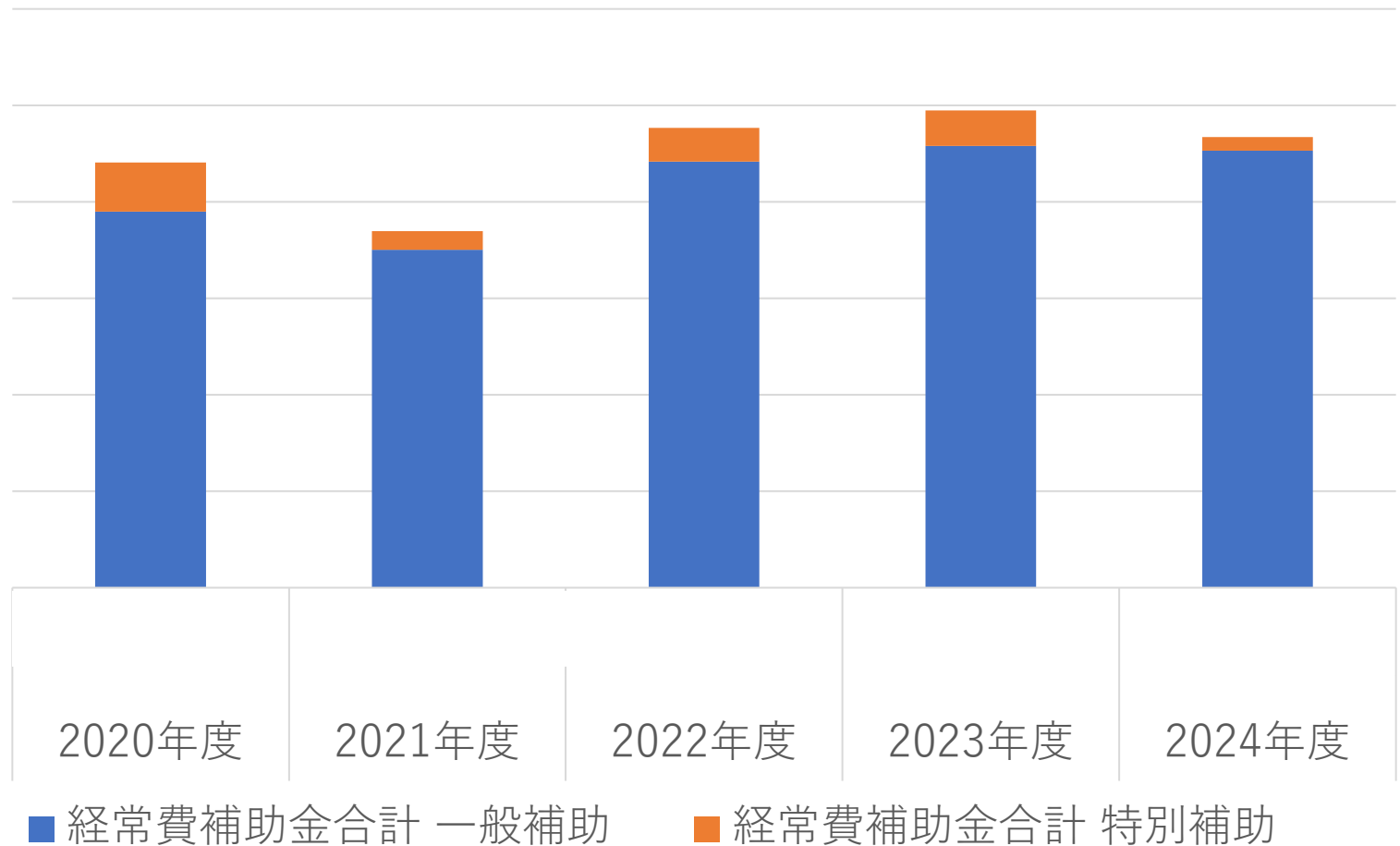
令和元年度、4年度、5年度に選定された。

方向性

- 設問に対する要件等を厳格に取り扱い、根拠資料のチェックにおいて不合理なものは外す（加点しない）
- 設問項目は大学を取り巻く重要な事項が含まれているので大学運営の参考にしていくが、採択可否の結果にとらわれ趣旨・目的を見失わないよう今後は申請を見合わせることも検討

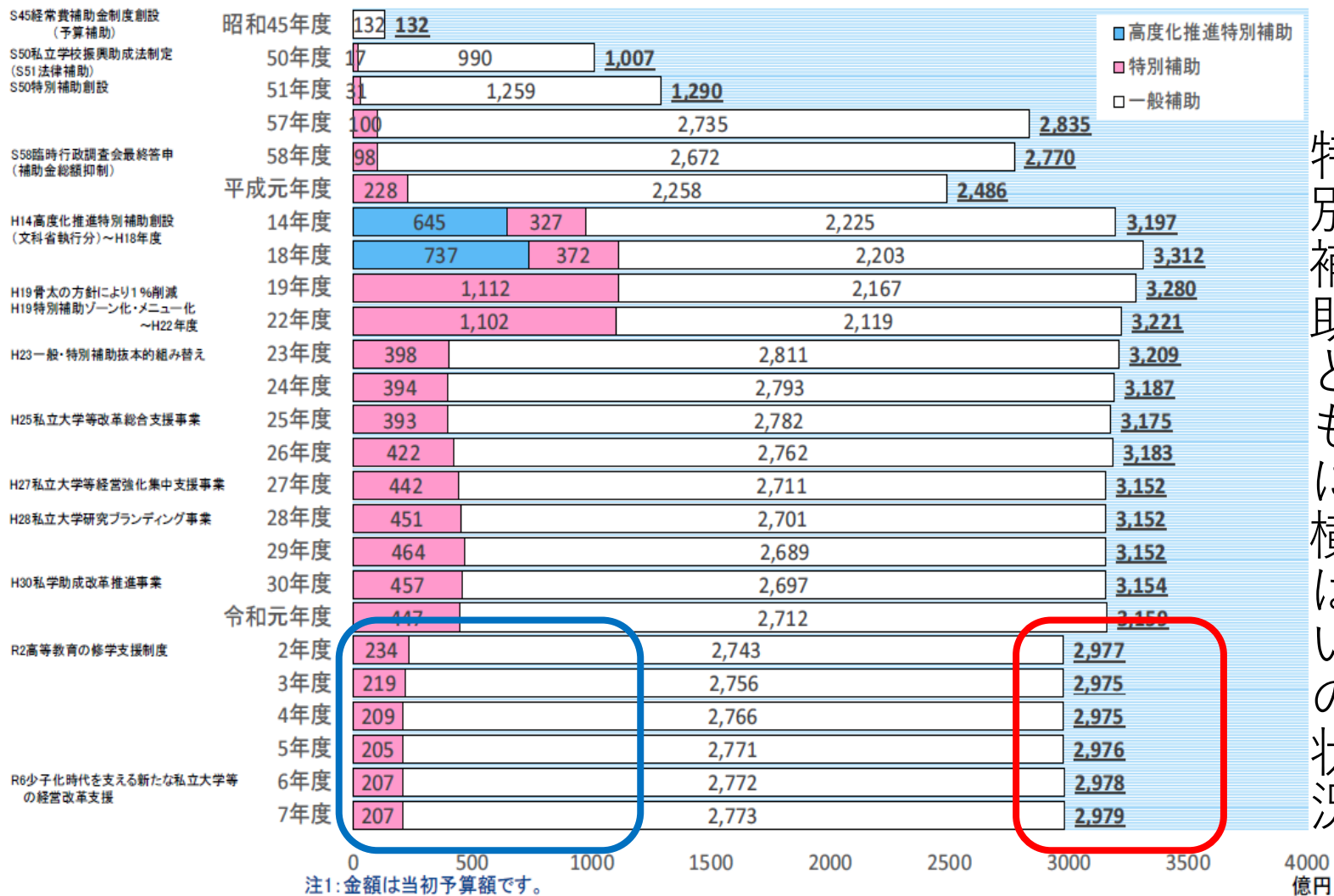
本学の補助金の現状

経常費補助金の推移



私学助成の動向

一般補助と特別補助 予算額の推移



ここ6年間は、一般補助・特別補助ともに横ばいの状況

グラフは2025年度私立大学等経常費補助金説明会資料から抜粋

経常費補助金、私立大学等改革総合支援事業について

学園が今取り組むべき課題として補助金の獲得を掲げており、事務部門が各部署横断的に取り組む研修テーマの一つとして扱われている。

- 補助金の現状を共通理解する。
- 補助金獲得のための課題を把握して必要な対応を図る。

科研費の申請率・採択率向上及び研究力向上に向けた取り組み

- ①研究推進委員会が中心となって研究力向上に向けて企画
- ②科研費攻略シンポジウム（隔年）
過去のシンポジウム資料・動画を公開
- ③科研費公募説明会の開催
- ④科研費採択者の研究計画調書の学内公開
- ⑤科研費申請に際してのレビュアーの配置
- ⑥科研費採択者、不採択者（A判定）に対して個人
研究費に研究費補助加算
- ⑦研究に際して利用できる学内資源の公開
（サービス・ソフトおよび物品）
- ⑧研究に際して利用できる教材の公開（機器・備品）

科研費採択状況

直近5年間

新規採択数の平均：10.0件

新規採択率の平均：25.9%

採択数は横ばい・採択率は年々減少傾向
全国的な位置づけは**別紙**参照

科研費獲得に向けた取り組み

- 学術研究活動の一層の推進を図るために、研究推進委員会が設置されており、研究推進委員会を中心に科研費獲得に向けた取り組みが検討される。
- 事業計画の「研究」の分野に科研費獲得の推進を掲げ、科研申請率と科研採択率の目標値を定めて取り組んでいる。

組織的な外部資金獲得への取り組み

1. 科研費獲得に向けた取り組み
2. 経常費補助金、私立大学等改革総合支援事業について

PF 形成推進委員会 SD 研修会

静岡福祉大学

テーマ：各大学における組織的な外部資金獲得への取り組みについて

1. 科研費（科学研究費助成事業）

① 学内研究支援制度（特別研究費）

将来的な科研費獲得に繋がることを目的に、学内に「特別研究費」枠を設け、研究活動を支援している。

配分総額：年間 100 万円

対象者：本学の教育職員および事務職員（事務職員も研究実施可）

研究形態：単独研究および他大学との共同研究

成果報告：年度末の「研究報告会」にて研究テーマや成果等を発表

研究成果は『静岡福祉大学研究紀要』または学会誌等に投稿

② 科研費説明会の開催（FD・SD 研修会の一環）

文部科学省 学術研究推進課の職員を招き、「科研費申請と書き方の要点」についての講演を実施。

対象者：科研費申請予定の教職員、科研費担当の事務職員

③ 教員に説明実施

科研費の公募にあわせて、教授会にて全教員に説明をし、情報提供や申請支援を行っている。

④ 科研費申請を検討している教員間で申請書類の内容に対してピアレビューを実施している。

2. 企業・地域との共同研究事業

① 地域との共同研究については、自治体との包括連携協定を活用し、毎年地域課題解決を目的とした共同研究を実施。

具体的な事例：焼津市・藤枝市・富士市との連携による

研究テーマ：地域政策研究、健康増進・介護予防、地域課題調査研究、ゼミによる地域貢献活動

②企業との共同研究については、教員が開拓しており、事務側からの積極的な支援は十分とは言えない状況。

かつてふじのくに地域・大学コンソーシアムの共同研究助成事業に応募実績あり（採択には至らず）。

民間企業との連携：株式会社伊藤園中央研究所との共同研究（2021～2023 年）

3. 経常費補助金・私立大学等改革総合支援事業への対応

学内の改善委員会（教職員執行部メンバー）において対応方針を協議。

外部資金獲得ワーキンググループにて、改善に向けた行動を検討している。

- ・行動計画一覧表を作成している。
- ・外部資金獲得計画書を作成している。

地域貢献活動を充実させ、制度的な支援対象となるよう取り組みを強化中。

実施例：公開講座、防災活動など、地域に開かれた教育研究活動を展開。

地域貢献を通じた教育・研究機能の充実を目指している。

「各大学における組織的な外部資金獲得への取り組みについて」
～各大学の各種外部資金獲得についての事例紹介～

1 科研費獲得への取り組みについて

本学では、コンプライアンス教育の一環として、研究委員会主催で「研究不正防止セミナー」を実施しているが、希望者を対象に「科研費獲得セミナー」を同日に開催し、科研費の全体像、研究計画書（申請書）の作成方法について解説している。これにより、応募者数の増加と採択率の向上を図っている。

また、科研費の採択者に対しては、獲得した間接経費の額に応じて大学の個人研究費を加算する制度を設け、研究活動の充実と外部資金獲得へのインセンティブ強化に努めている。

科研費の業務は総務・企画グループが担当し、応募情報は全教員にメールで周知している。昨年度の実績としては、研究代表者による応募が6件あり、そのうち1件が採択され、今年度から研究を開始している。応募者数は年々増加しているものの、採択率の向上が今後の課題である。

表1 浜松学院大学の科研費応募状況（研究代表者分）

年度	2022 年	2023 年	2024 年
応募件数	2 件	3 件	6 件
採択件数	0 件	0 件	1 件

表2 浜松学院大学短期大学部の科研費応募状況（研究代表者分）

年度	2022 年	2023 年	2024 年
応募件数	1 件	1 件	1 件
採択件数	0 件	0 件	0 件

2 経常費補助金等獲得への取り組みについて

「教育の質に係る客観的指標調査」については、経営企画室で設問を各委員会等に割り振り、全学的な体制で取り組みを推進している。各委員会等から報告のあった設問の獲得点数は経営企画室で取りまとめ、大学運営会議及び教授会で報告している。これにより、各項目に対する対応状況の把握と改善が進み、獲得点数の向上につながっている。

また、「私立大学等改革総合支援事業タイプ1」の採択を目指し、同様に全学的な体制で取

り組みを推進している。前年の結果を踏まえつつ各委員会等で改善に取り組んでいるが、毎年設問の見直しがあることから、近年は点数が伸びず採択には至っていない。しかし、大学機関別認証評価の評価基準と重なる部分も多く、教育の質向上に資する取り組みとして継続している。

その他、「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」など、新規の補助金に関する通知があった場合には、学内で速やかに情報を共有し、関係部署での検討を経て積極的に応募を行っている。

3 その他の補助金・助成金獲得への取り組みについて

その他の補助金等については、情報が入り次第、経営企画室や総務・企画グループを中心に関係部署から募集案内を行っている。応募、申請の手続きは関係部署が担当し、獲得した補助金等の管理は総務・企画グループが行っている。

近年、継続的に獲得している補助金等は、ふじのくに地域・大学コンソーシアムによる「ゼミ・研究室等地域貢献推進事業」や静岡県西部しんきん地域振興財団による「地域活動助成」が挙げられる。

「各大学における組織的な外部資金獲得への取り組みについて」

～各大学の各種外部資金の獲得についての事例紹介など～

1. 科研費獲得への取組について

現状と課題

本学では、学長方針の中で、科研費獲得について明確に「積極的な活用」が指示されている。科研費の応募・申請・管理などの業務を総務課に統一、科研費募集、申請についての説明会を教授会の中で実施。昨年度応募 21 件 採択 6 件 今年度 応募 14 件 採択 3 件で、いずれもスポーツ科学部所属の教員となっている。

毎年、応募する教員の顔ぶれが同じ。個人研究費に連動するような仕組みもなく、間接経費で大学に貢献するという意識が薄い。

2. 経常費補助金獲得への取組について

現状と課題

① 私立大学等改革総合支援事業への取組

ここ数年、企画戦略室でとりまとめをすることで、各部署への助言、指導が可能になってきているが、現在自部署で担当している業務のうち、どの部分が補助金に影響があるのか、把握していないことも多々あり、企画が知らないうちに実行されていないことも散見される。

② 教育の質に係る客観的指標調査への取組

設問内容から、企画戦略室が取りまとめるが、主に教務課にて対応を依頼している。何年か継続して実施されている調査のため、教務課でも何が必要な施策なのか理解が進んでいるが、3 ポリに関わる部分など、全学的な取組が必要な項目もあり、執行部の協力も不可欠。

③ 地方中小規模校の学生単価等に係る調査への取組

今年度から新しく導入された調査であり、これまで何もしなくても助成されてきた最も一般的な経常費補助金の基本の単価が下がり、文科省の示す各種の施策について取り組みのよい大学が増額される仕組みとなり、各部署で本調査の共有をしたうえで、必要事項の洗い出しから始める必要がある。

3. 市町など地元地域や地元企業などからの補助金・助成金獲得への取組について

現状と課題

今年度、本学では連携市町から課題の提示を受け、藤枝市 3 件、磐田市 1 件、静岡中部連携

事業において 3 件（島田市 2 藤枝市 1）事業の照会があり、応募した教員の研究が採択され、補助金の獲得につながっている。また、ふじのくに地域・大学コンソーシアムからの課題解決スキームにも応募 5 件、採択 3 件という状況で、各自治体からの事業の募集の紹介は企画戦略室、応募から申請までの教員とのやり取りは主に教務課、事業開始後の補助金の給付、精算などの管理は総務課が担当している。

地方自治体や企業からの補助金については、国の政策変更や教職員の個人的なつながりなどで照会がされることが多く、毎年確実に申請、獲得できるわけではないため、事前の情報収集が重要だが、少人数の企画部門ではなかなか追いきれないことが多い。

令和7年9月2日

令和7年度第2回SD研修会の開催について

プラットフォーム形成推進委員会

委員長 田畑和彦

事務担当 吉添 克宏

下記のとおり、SD研修会を開催します。

記

- 1 開催日時 令和7年9月26日（金） 15時30分～16時00分
- 2 開催方式 Zoomによるオンライン
- 3 対 象 静岡県内の大学等の職員（ただし、教員の参加も可とする）
- 4 テーマ 「各大学における組織的な外部資金獲得への取り組みについて」
～各大学の各種外部資金の獲得についての事例への質疑と考察～
- 5 講 師 静岡理工科大学 池田 達哉
聖隷クリストファー大学 清水 聖亜
静岡福祉大学 高尾 直樹
浜松学院大学・同短期大学部 中村 友実子
静岡産業大学 吉添 克宏
- 6 申込方法 令和7年9月24日（水）17:00までに下記宛に連絡ください。
静岡産業大学 吉添 メール：kikaku@ssu.ac.jp
※アーカイブからの後日視聴も可能です。

以上